

第1回茨城県央環境衛生組合新処理施設整備検討委員会 会議録

開催日時	令和7年5月26日（月） 午後1時30分～午後2時30分	
開催場所	茨城町役場2階 第2・3会議室	
出席者	委員	小川委員（委員長）、藤田委員（副委員長）、蛭江委員、中村委員、雨谷委員、大貫委員、飯塚委員、成田委員、篠田委員
	事務局	塚本事務局長、海老澤事務局長補佐、石川係長、小林主事、日本環境衛生センター（3名）
会議の内容		
1 開会		
2 委嘱状交付		
3 委員紹介		
事務局より各委員の紹介		
4 委員会の設置条例		
事務局より茨城県央環境衛生組合新処理施設整備検討委員会条例について説明		
5 委員長及び副委員長の選出		
小川委員が委員長、藤田委員が副委員長に選出され決定		
6 諮問		
事務局より諮問書について説明		
7 事業経緯及び今後の審議事項		
事務局より新処理施設整備に係る事業経緯について説明		
8 議事		
(1) 委員会の運営（案）について		
事務局	【議事（1）委員会の運営（案）について説明】	
委員	会議録の作成及び公開について、(4)「非公開情報が記録されている部分を除き」とあるのですが、非公開情報かどうかどうやって判断されるのかということと、公開される場合はそこを墨塗りにして出すのかという理解でよろしいでしょうか。	
事務局	非公開か否かというところについて、個人情報などにつきましては、委員長とご協議をさせていただきながら、実際の公開については先程委員からいただきましたとおり墨塗りのような形で公開することを想定しております。	

委員長	できるだけ、墨塗りは少なくしていきたいと思います。
委員	以前、他の市町村にて、墨塗りにして公開したのですが、上から黒い四角を乗せただけで、読めてしまうことがあったので、ご注意いただきたいと思います。
委員長	委員がご指摘したように、十分ご留意願います。 それでは、議事(1)委員会の運営(案)について、委員の意見を反映した上で、異議なしということによろしいでしょうか。
委員各位	異議なし
委員長	ありがとうございます。異議なしと認めまして、議事(1)につきまして承認とします。 それでは、日本環境衛生センターが本会議へ同席しますので、少々お待ち願います。
【日本環境衛生センター入室及び自己紹介】	
(2) 新処理施設整備基本計画の骨子(案)について	
事務局	【議事(2) 新処理施設整備基本計画の骨子(案)について説明】
委員	事業継続計画については、どの辺りに含まれるのでしょうか。
委員長	いわゆる災害対応だと思うのですが、施設整備計画の中に事業継続計画を盛り込むのか否か、説明頂いた骨子案では読み取れない部分がありますが、委員からご指摘いただいた点については、非常に重要な部分ですので、今回入れ込まないのか現在の事務局案としてはどのように考えているのでしょうか。
事務局	災害対策としては、第4章第5節の中で施設の強靱化また防災の確保という観点で議論する予定です。
委員長	今の形ですと一応災害対策は含まれておりますが、より具体的に検討した方がよろしいのではないのでしょうか。
委員	2011年の東日本大震災を踏まえ施設の耐震化や収集運搬等の方針については、第1章、第2章で述べて。周辺の施設や地域との連携についても議論すべきと考えています。
委員長	どこまで計画の中に含めるのか、次回ご報告をいただくこととします。
委員長	処理方式については、本計画の中で一つの方式に絞るのか、計画・設計要領に沿った内容とするのかどのように考えていますか。

事務局	水処理方式については、計画・設計要領に沿った内容を予定し、資源化方式については、ある程度絞り込みをしていくという考えです。
委員	計画処理量の設定について、来年度まで予測するのでしょうか。人口減少及びし尿と浄化槽汚泥の割合も変化してくるので、どのように考えていますか。
事務局	最新の実績値である令和6年度の実績値を用いて、令和12年度の稼働開始に向けて施設規模の設定をする予定です。
委員長	第5章においてPFI等導入可能性調査の結果が報告されることになっており、本調査で不可という結論が出た場合、組合直営となるのでしょうか。
事務局	PFIの事業形態のみではなくDBO、DB+Oなど、直営も含め比較検討し、検討結果を本組合事業に反映したいと考えています。
委員長	現施設での問題点などを次回以降まとめることになりますが、現施設の事務局長よりご意見はございますか。
委員	災害時の協定に関して、ごみ処理施設は、近隣のごみ処理施設との連携がとれていますが、し尿処理施設の場合には、なかなかうまくいっていない状況です。東日本大震災時には受入れを調整しました。 新施設の運転管理はメーカーに協力してもらいたいと感じています。
委員長	地域のBCP協定は、今後進む方向でしょうか。
委員	災害時対応として、気仙沼では余剰槽を多目的槽として運用しています。季節変動も含め、一次貯留槽、流量調整槽みたいなものがあると運用しやすいのではないのでしょうか。
委員長	災害対策を含めた形でBCPについては整備基本計画にできる限り盛り込むようにしてください。
(3) 委員会スケジュール(案)について	
事務局	【議事(3)委員会スケジュール(案)について説明】
委員	第6回検討委員会は答申のみでしょうか。
事務局	そのとおりです。
9 その他	
事務局	次回の検討委員会については7月15日火曜日に開催を予定しておりますのでよろしくお願いします。
10 閉会	